

定期宅配も
承っております



「いのち」とつながるお水です。

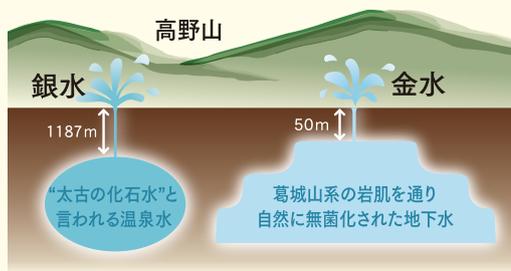
届けたいのは

「ミネラルウォーター」月のしずく

商品番号103
月のしずく
4,800円(5,184円税込)
●容量/2L×6本入り

商品番号127
月のしずく
6,000円(6,480円税込)
●容量/500mL×24本入り

※原材料/鉱水・鉱泉水



左:「銀水」をそのままボトリングしたものが「神秘の水 夢」
右:「銀水」と「金水」とをブレンドしたものが「月のしずく」

「月のしずく」は、和歌山県橋本市神野々に湧く「金水」と「銀水」と呼ばれる2つの天然水をブレンドしたミネラルウォーターです。

このあたり一帯には「水脈がない」と、専門家が難色を示したにも関わらず、昭和62年、無菌の地下水「金水」が湧き、さらに3年後、地下1,187メートルの深い岩盤の中から温泉水「銀水」が湧き出してきました。

その温泉水を詰めたスプレーボトル「神秘の水 夢」がお客様の間で話題になり、自宅の水道水に薄めて飲み水として使っている方もありました。水道水に希釈して使うより、「ゆの里」に湧く無菌の地下水「金水」と初めから混ぜ合わせていただけたら、もっといいのに……。

こんなお客さまのご要望から平成7年7月7日、2つのお水をブレンドしたミネラルウォーター「月のしずく」が誕生しました。



商品のお問い合わせは

シゲオカ TEL ☎0120-090-032

「ゆの里」公式ホームページ <https://www.spa-yunosato.com>

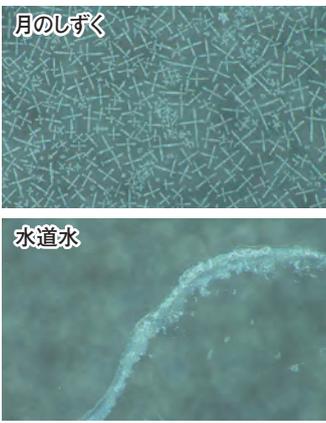
おみず FAX ☎0120-342-326

大事なことは、「量」より「継続」。 続けて飲むことで、体にしみわたっていきます。

体のバランスを保つためにも、
いい水をとりましょう。

数年前から「ゆの里」では、水の分子構造からさまざまな情報を読み取る研究を行っています。そこにはアクアフォトミクス(神戸大学のツェンコヴァルミアナ教授によって提案された新しい科学の概念)という、水のスペクトルパターンの違いを利用して水を理解する新しい概念が用いられ、「ゆの里」のお水を知る上で大きな役割になっています。

こうした研究結果から「月のしずく」の水構造がわかってくると、お水を使った加工食品や化粧品など「ゆの里」で展開している商品の機能性があきらかになり、より多くのお客様にお水を理解していただくと考えています。



水が蒸発したあとの残留物。成分をうまくくんで働く水かどうかわかります。

「月のしずく」はデリケート。
最新の充填工場から出荷しています。

「月のしずく」は、同じ和歌山県にあるサカイキャニリング(株)で充填しています。ここは、世界最高水準の食品安全基準FSSC22000も取得した最新鋭の充填工場。大手メーカーの飲料水も充填していますが、「月のしずく」の充填には、人一倍気を使うと言います。というのもわずかな衝撃や充填速度を上げただけで、このお水は変わるからです。充填時は、豆腐を扱うようなソフトハンドリングで生産ラインを整えています。



「月のしずく」仕様に生産ラインを整えて出荷しています。

「金水」と「銀水」の2つの バランスがとれたお水です。

●主な成分(1000mL)

項目	含有量
ナトリウム	45 mg
カルシウム	33 mg
マグネシウム	12 mg
カリウム	2.5mg
ヒドロ炭酸イオン	230 mg

※硬度130.5(中硬水) pH7.2
※成分値は多少の変動があります。



天然温泉100%のお水。
「銀水」だけを詰めました！

商品番号151
神秘の水 夢
1,000円(1,100円税込)
●容量/100mL

商品番号152
神秘の水 夢
2,000円(2,200円税込)
●容量/280mL

※原材料(鉱泉水)
泉質:含二酸化炭素・鉄・
カルシウム・マグネシウム・
ナトリウム・炭酸水素塩泉



私も愛飲
しています

「体は水でできている。
だから、飲む水は大事なのです」

東京薬膳研究所 所長・食養研究家 武 鈴子



水分摂取の重要性はよく
言われていますが、水の質ま
ではあまり話題にならない。
「月のしずく」は、本物のお
水だと確信しています。人
間の体は70%は水ででき
ているのですから、水がどれ
ほど影響するか、当たり前の
ことなのですね。

アクアフォトミクスとは

2005年にツェンコヴァルミアナ教授(「ゆの里アクアフォトミクスラボ」最高顧問)が発見された科学分野で、「アクア」とは水、「フォト」は光。そして「オミクス」とは、そのすべてということで、アクアフォトミクスは光と水によって関係性を紐解く科学分野として、世界中から注目されています。2020年に敷地内に新設した「ゆの里アクアフォトミクスラボ」は、これまでの水の豊富な研究データをもとに、水の可能性を探求し、新たな商品開発にまで発展させることを目的にしています。